

### 第3回 内視鏡的胆道ドレナージの評価基準作成に関する研究会

会 期：5月27日(土) 13:00-15:30

会 場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 2階 松葉

代表世話人：伊佐山 浩通(順天堂大学)

内視鏡的胆道ドレナージの評価基準であるTokyo criteriaは、だいぶ認知されてきましたが、まだ完全なものではなく、各手技における特殊性なども考慮されていないものでした。今回、改訂し新たな基準を作成することを計画し、内視鏡学会の附置研究会として3年間活動してまいりました。概ね完成し、本年度は公聴会という位置づけで皆様の御評価、御批判を受けて、更にBrush upしたいと思っております。胆道ドレナージ・胆管ステントに関わる多数の先生方、企業の方々のご参加をお待ちしております。

研究会プログラム (13:00-15:00)

総合司会：伊佐山 浩通(順天堂大学)

開会の辞

乾 和郎(山下病院)

本会の趣旨説明 (5分)

順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学 伊佐山 浩通(順天堂大学)

第一部 (13:10-13:40)

司会：安田 一郎(富山大学), 伊佐山 浩通(順天堂大学)

Revised Tokyo Criteriaのコンセプト, 評価対象, 適応, 手技・臨床的成功 (発表15分, 討論10分)

濱田 毅(東京大学)

第二部 (13:40-14:00)

司会：中井 陽介(東京大学), 伊佐山 浩通(順天堂大学)

有害事象とRBO (発表10分, 討論10分)

藤澤 聡郎(順天堂大学)

休憩 (10分)

第三部 (14:10-14:30)

司会：潟沼 朗生(手稲溪仁会病院), 伊佐山 浩通(順天堂大学)

患者背景, 手技などに関連する記載項目 (発表10分, 討論10分)

竹中 完(近畿大学)

第四部 (14:30-14:50)

司会：北野 雅之(和歌山県立医科大学), 伊佐山 浩通(順天堂大学)

評価項目 (発表10分, 討論10分)

佐々木 隆(がん研究会有明病院)

閉会の辞 (評価委員からのコメント)

藤田 直孝(みやぎ健診プラザ)